

2019年9月11日

輸送動向について（2019年8月分）

1. 輸送概況

コンテナは、前年に発生した「平成30年7月豪雨」の影響により、すべての品目で前年を上回った。中でも積合せ貨物は鉄道へのシフトが進んでいることも併せて大幅に増送したほか、紙・パルプは中国・九州地区に生産拠点多く位置していることから前年を大きく上回った。また、自動車部品が東海・九州地区間での新規輸送開始もあり荷量が倍増した。食料工業品は清涼飲料水が飲料各社の生産体制の変更や前月の低温の影響を受け減送となったものの、菓子・ビール類の九州向けが反動増となり、前年を上回った。ただし、盆休期が長期連休となり稼働日が減少したことに伴って、期間中の発送が大きく落ちたことが影響し、コンテナ全体では前年比125.0%にとどまった。

車扱は、石油が梅雨明け後に気温が上昇したことに伴って、ガソリンの需要が好調となったものの、わずかに前年を下回った。また、セメントが上旬の台風接近の影響により在庫過多が発生したため、大幅な減送となった。その結果、車扱全体では前年比99.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比115.6%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,578	1,263	125.0%	8,585	7,918	108.4%
車 扱	732	736	99.4%	3,294	3,305	99.7%
合 計	2,310	1,999	115.6%	11,879	11,223	105.8%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	128	113	15	113.8%
	化学工業品	139	111	28	125.3%
	化学薬品	101	76	25	132.8%
	食料工業品	264	242	22	109.1%
	紙・パルプ	211	175	36	121.0%
	他工業品	109	88	21	123.6%
	積合せ貨物	222	161	61	138.1%
	自動車部品	64	32	32	198.3%
	家電・情報機器	32	23	9	138.3%
	エコ関連物資	43	30	13	143.6%
	その他	264	212	52	124.7%
	コンテナ計	1,578	1,263	315	125.0%
車 扱	石油	485	487	-2	99.7%
	セメント・石灰石	121	134	-13	90.7%
	車 両	73	70	3	103.8%
	その他	53	46	7	114.2%
	車 扱 計	732	736	-4	99.4%
合 計		2,310	1,999	311	115.6%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)